

若手切り花生産者 宇都宮の先進農家を視察

～スマート農業技術を学ぶ～

印旛農業事務所改良普及課 令和4年8月19日発

印旛農業事務所では、切り花生産者の生産技術と経営能力の向上を図るため、5月20日に宇都宮市の先進農家（有）エフ・エフ・ヒライデの視察研修会を開催しました。当日はユリやケイトウ、アジサイ等の生産者の他、仲卸や関係機関など併せて12名が参加しました。

（有）エフ・エフ・ヒライデは、スマート農業技術にいち早く取組み、ユリが生育するのに最適な環境づくりを目指して、環境モニタリング装置や統合型環境制御機器等を導入し、合理的な生産を行っていました。先進農家と交流し、参加した生産者からは「人件費や管理費など見える化を図ってコスト削減に励みたい」「CO₂ 施用がどの程度ユリに効果を示すのか気になった」など、経営と技術の安定化に向けた前向きな意見が聞かれました。

農業事務所では、今後も若手切り花生産者の更なる発展に向けて支援をしていきます。



作業動線の考えられた調製場



統合型環境制御によりミスト装置が稼働